

薬理学 A (Pharmacology A)

担当教員名: 教授 河野 茂勝、准教授 奈邇 健

【概要】

薬理学とは、簡単に言えば、「薬物と生体との関わり合いを取り扱う学問」であり、他の学問、とくに生物学、生化学、生理学、病態生理学、病態生化学および解剖学と深く関係する。さらに詳細に言えば、薬理学は「薬力学（薬物の作用機序（主作用および副作用））」、「薬物動態」、「薬物の臨床応用」などを取り扱う学問である。

【授業の一般目標】

薬理学の「総論」として、薬物が薬として登場するまでの生物検定法およびその開発の過程を理解する。さらに、薬物が生体に入った場合にどのような機序により作用を及ぼすのか、またそれらの薬物は生体内でどのような運命を辿るのかの一般的に必要な知識を修得する。つづいて、各論として「体性神経系」および「自律神経系」に作用する薬物について、主として薬効の作用機作、適応症および副作用について理解し、修得する。

【成績評価方法・基準】定期試験の成績を主とし、出席回数を加減して評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

8号館3階、河野教授室または奈邇准教授室に来ること。
